とよさと

豊里学園
大阪市旭区
太子橋1-16-24
発行責任者
後援会担当者

ご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。昨年も多くの皆さまの温かい支えにより、学園の子ども達は、無事に一年を終えることが出来ました。皆さまの子ども達への温かい思いとご支援、心から感謝申し上げます。

さて、長期化するコロナ禍の中で、豊里学園の子ども達の暮らしにも大きな変化がありました。昨年は、様々な行事が中止や縮小して開催しました。年末には、クリスマス会を各グループで行い、一人ひとりにプレゼントが手渡され、賑やかなひと時を過ごすことが出来ました。後援会会員のみなさまをはじめ、地域の方々よりケーキやお菓子をお届け頂き、誠にありがとうございました。子ども達には、外出や帰宅などに制限があり、大変な不便をかけていますが、子ども達が安心して生活できるよう職員一同、努めて参りたいと思います。また、後援会会員のみなさまには、引き続きのご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって幸せに満ちた一年となりますよう、お祈り申し上げます。

園長
山中ひろみ

お正月

◎今年のお正月はコロナウイルス対応の為外泊も外出もできない異例のお正月となりました。そんな中、少しでもお正月を楽しもうと園内に神社を作り初詣に行きました。くじを引いて当たりはずれに一喜一憂しました。一堂に会するお祝い膳も各食堂やフロアに分かれて行いました。それでもおいしいお正月料理を味わい、お年玉をもらい嬉しい年明けになりました。どんな一年になっていくかまだ不透明ですがそれでも学園のこどもたちも精いっぱい頑張っています。

（板東）

クリスマス

☆豊里学園でクリスマス会を行いました。24日はクリスマスのＢＧＭを流しながら、チキンやケーキなどクリスマスメニューの夕食をお腹いっぱい食べました。25日の朝起きると、サンタさんにお願いしたプレゼントが届いており、大喜びのこどもたち。朝の準備を急いで済ませて玩具へまっしぐらでした。外出はなかなかできない状況ですが、室内でクリスマスの雰囲気をたっぷり楽しむことができたと思います。

（山田）

小森様より頂きました

食べることの大切さ

◇先ず、コロナ禍での突然の休校の折には会員の皆様のご協力により、こども達の食事が保障されたことにお礼を申し上げます。さて、いつもなら温かい鍋の季節ですがみんなで鍋を囲めず、より寒さを感じます。職員一同、改めて毎日の食事の大切さを知ることとなりました。あの手この手とこども達がおいしく楽しめる工夫をし、この状況が打破されることを願い、たくましく成長した様々な食材からは命の大事さを感じます。余すことなく使い、豊かな食卓へ繋げたいと思います。

（松尾）

後援会からのお知らせ

〇いつも後援会にご協力頂きありがとうございます。2021年度も引き続き後援会にご協力頂きたくお願い申し上げます。後援会費の振込用紙を同封させて頂きます。

振り込みまたは豊里学園まで直接お願いします。会員の皆様のご協力によってより豊かな子どもたちの生活が実現できます。今後ともよろしくお願いいたします。